



グラウンドワーク三島 ボランティアニュース

No.26 2005年2月28日発行

発行 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
〒411-0036 静岡県三島市一番町 11-6
TEL 055(983)0136 FAX 055(983)3900
URL <http://www.gwmishima.org/>
E-mail gwmisima@shizuokanet.ne.jp

グラウンドワークとは・・・

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)

お披露目・三島うみやあもん屋台



17.2.6.「せせらぎシニア元気工房」のリサイクル屋台(製作協力遊水匠の会)が三島市中央町で披露された。この日は箱根西麓で採れた野菜の販売と箱根人参ジュースの試飲サービスでお披露目を飾った。



そば打ち道場

16.12.26 経済産業省「コミュニティビジネス事業」の一環として、休耕田を利用して栽培、収穫したそばの実の扱い方からそば打ちまでの実習。

函南さくら保育園
17.1.16 ビオトープ作りは、昨年11月から月1回のペースで3回目の作業。今回は間伐材や竹などを利用し、水路と橋生け垣などを設置した。
(P2 記事参照)



源兵衛川

16.11.13 増加した湧水で冠水した遊歩道。裸足で歩く見学者も。鏡池(写真右)も1年ぶりに美しい湧水を湛えた。



清住緑地・収穫祭

16.10.21 三島市立西小の5年生が清住緑地の田んぼで稲刈り。収穫の喜びを体験。
(P2 記事参照)



三島測候所・保存活動
16.10.17 新散策ルートとして提案する目的で、三島ふるさとガイドの会の協力で「下田街道を歩く」を実施。

祝・イギリスGW21周年祭



英国GWオールダム&ロッチデールは、2004年10/11~10/14までを、イギリスの成人年にちなみ21周年を祝う各種行事を行った。(P3 記事参照)



三島・鎮守の森探検隊
16.8.21~17.2.6までの6回にわたり、「調べてみようみんなの森!」をテーマに開催された。参加者は延べ250人。左は冬の里山観察、下の写真は木の实を使った工作(P3 記事参照)



グラウンドワークシンポジウム in 三島

～ パートナーシップを生かしたグラウンドワーク活動 ～

平成 16 年 11 月 12 日、三島グランドホテル会議室において、財団法人日本グラウンドワーク協会（以下日本GW協会）とNPO法人グラウンドワーク三島（以下GW三島）が三島市の共催を得て、ここでもう一度原点を見つめようということで、日本のGW発祥の地、三島での開催となりました。小池政臣三島市長、緒明實GW三島理事長挨拶に続き、関西学院大学教授・村尾信尚氏が、「公を担う主体としての民」と題して講演。「変革の時代の中で、行政、企業、市民それぞれの意識の改革、情報公開の重要性、特に行政と市民の間を上手いかにしていく優れたコーディネーターの育成が重要であろう」と話されました。

次に、GW三島での実践例を事務局長の渡辺豊博が行い、「パートナーシップを生かしたグラウンドワーク活動」をテーマに、

行政代表・宮崎眞行氏、企業代表・小浜修一郎氏、市民代表・山田晴子氏（NPO法人ちばMDエコネット理事長）、金藏法義氏（財団法人日本GW協会専務理事）



それぞれの立場からグラウンドワーク活動を語るパネルリストたち

を交えてパネルディスカッションが行われました。意識の向上・パートナーシップの強化、付加価値をつけていく活動、コミュニティビジネスへの展開が今後大切であるという意見が交わされ、会場内も頷く人、メモを取る人など、皆熱心に聞き入っていました。参加者の日本大学国際関係学部金谷ゼミの初瀬さんは、「まちづくり、パートナーシップについて勉強しています。今日は、市民の本当の声を引き出すためにはどのようにしたらよいか、どのようにすすめていったら事業が成功するかなど大変勉強になりました」との感想を話してくれました。東北地域から沖縄まで、約 150 人も参加者を迎え、心熱い会となりました。

園南 さくら保育園 ビオトープ

園児もお手伝い・3月完成目指して工事着々

平成 17 年 3 月 17 日の卒園式・竣工式を目指し、平成 16 年 11 月 14 日から建設が開始された。「昔の田んぼはみんなのオアシス」をテーマに田んぼ・どろんこ広場・砂利の川・池・湿地・お弁当デッキなど園児が遊べる施設、水田の体験ができるように設計されている。川は 2 つあり、泥んこで汚れたら洗って遊べる川。生き物がいる田んぼに続く川と、園児向きに配慮されている。



1 回目(H16/11/14)

120 名の参加で地鎮祭。麦わら作り(写真右)、杉の間伐材切り、敷地内掘り起こし、盛壇など。

2 回目(H16/12/11)

12 月 5 日の強風で倒木したヒノキを有効利用し、枝払い・皮むき。土運び。

3 回目(H17/1/18) 早朝まで降っていた雨で泥だらけになって、間伐材や竹を利用し、水路・橋・生垣設置作業を進めた。

4 回目(H17/2/12) 井戸掘り。人力と竹を使った伝統的な上総掘りを参考にした三島式上総掘り(写真下)。水脈探しに苦戦したが、17 日(木)の再挑戦でついに水が出た。

5 回目(H17/2/27) お弁当デッキ・植栽・歩道の設置。植栽用の樹木は、小浜修一郎氏の紹介で 2 月 21 日に開店 50 周年を迎える住友信託銀行・静岡支店の記念行事の一環として職員からの浄財 10 万円が充てられる。

テーマの基盤「こんなにまわりに自然が残っている畑や田んぼがあるのに今は自由に遊べない状況。だから子供たちに触れさせたい」という遠藤生園長の思いが、園児・保護者・職員のヤングパワーの協力を得て、着実に実を結んでいるのを実感した。



境川・清住緑地 収穫祭大盛況



平成 17 年 11 月 13 日、境川・清住緑地で開催した自然の恵みに感謝する収穫祭に、西小学校や鎮守の森探検隊の子供たちを中心に 80 余人が参加した。

大盛況の中、餅つき(写真上)やビンゴゲームで和気あいあい。滝道雄先生の指導による野鳥観察会では、カワセミやヤマセミの飛来も見られ、感動。当日は緑地内の清掃も行われ、参加者一同よい汗をかけた 1 日でもあった。境川・清住緑地愛護会運営委員の岡田さんは、「こうした活動に参加してくれた子供たちが、自然環境を守るボランティアとして成長してくれることを期待します」と感想を話した。

宮さんの川・ホタルの星づくり

平成 17 年 1 月 15 日、第 1 回目のワンデイチャレンジが、みぞれまじりの小雨が降る悪天候の中、決行された(写真下)。GW三島スタッフと、地元泉町の皆さんで、両側の植栽と垣根づくりに挑戦した。2 月 20 日(日)に第 2 回目の作業が行われ、いよいよ完成目前。3 月 5 日には三島市長ら出席の下、完成式が行われる。



三月五日午後二時より完成式
午前時からの作業にも協力感謝

鎮守の森探検隊

最終回

ネイチャークラブに挑戦!

H17/2/6(日)

悠遊工房ひろかわにて

お天気に恵まれたなか、富士常葉大学自然体験活動研究会の学生4人を講師に迎え、「木の実をつかった工作」が開かれました。この日の参加者は家族連れを含めて、約20人。持ち寄った松ぼっくりや木の実などを約2時間かけてカエルやフクロウに変身させていました。出来上がった作品に皆満足そうで、「とても楽しかった。また参加したい」「今まで見過ぎていた自然に対して見方が変わった」などの感想が寄せられました。



Smileスマイル

佐々木和夫さん 増田千秋さん

函南さくら保育園のピオトープ建設現場に2人を訪ねたときは、山へ間伐材や竹を取りに行き、丁度戻って来たところでした。「えっ？僕たち、いつの間にGW三島のピオトープの窓口になったの？」と返事をする2人の、眼鏡の奥の優しい眼差しが印象的でした。

佐々木さんがピオトープに関わるようになったのは、三島市立中郷小学校のPTA会長のとき。当時の校長からピオトープ建設の話があり、GW三島のコアスタッフの杉本政博さんたちと先進地へピオトープ見学に行きました。まさに「ピオトープとは？」から学んでいきました。「ピオトープ建設には、下準備が大変ということを感じました。3年後に中郷小のピオトープは完成しましたが、いろいろな人の力を借りました。多くの人との関わりや出会いを通して、自分も何か手伝わさせていただこうと思い、その後、長伏小、南高、そして今回のさくら保育園と、ピオトープ建設への参加が続いています」



佐々木 和夫 さん



増田 千秋 さん

増田さんは、三島市立北小、北中とPTA会長を引き受け、三島市PTA連合会会長のとき、佐々木さんと知り合いました。北小でもピオトープ建設の話は出ましたが、進展しませんでした。やがて、南高が高校生を主体にピオトープを建設することになり、その活動に加わりました。夏の暑い日の作業が忘れられないと苦笑。また、増田さんは腰切不動尊の大祭で餅つきをするなど、ピオトープ以外にも活躍。「僕は、いろいろな窓口にされちゃうんだよ。お祭りの窓口とか...」すると、すかさず佐々木さんが「夜の窓口もだろう?」お酒を伴う会の幹事も大得意のようでした。

「今回のピオトープは、今までのとはいろいろな点で違います。対象が幼児なので、安全面や遊びについても話し合いを重ねました。私立だからできるということもあります。公立だと教職員の異動があり、その時々の方針によって維持管理が大変になる場合があります。ここでは先生方がとてもよく動き、保護者も若くてパワーがあります。こういう活動には若い人の力が必要で、皆でやったことは大事にします。それが本来の姿でしょう。2人の目には、完成後のピオトープと、そこで遊ぶ子供たちの姿が映っているようでした。」



イギリスGW最新事情 GOR21周年祭開催

GWオールダム&ロッヂデール(GOR)は、2004年10/11~10/14、イギリスの成人年にちなみ、21周年を祝う各種行事を行いました。そのメイン行事がオールダム市ヒギンショウにある環境センター(GOR本部)で開催され、住民、各種団体、行政、企業が参加しました。それぞれが、パートナーとしてGWとの連携を再確認し、将来のオールダム、ロッヂデール両市の発展への協力を誓い合いました。

10/11・環境フォーラム オールダム市の環境パートナーシップ主催の環境フォーラムをGOR本部内で開催し、同市の市民、各種団体が、オールダム市の3~5年後の環境改善目標を、天然資源の保護、生活環境の改善、交通、地域の意識向上と地域の改善などを分科会形式で話し合いました。

10/12・環境センター オープンデイ 環境センターはオールダム市の登録文化財になっているビクトリア時代の建物ですが、1895年から1983年までは、ヒギンショウ学校、オールダムカレッジなどとして利用されていました。当時の生徒、学生、関係者130人以上の人が母校(現GOR本部)を訪れ、内部案内ツアーなどで当時を懐かしみました。最高齢者は85歳で1925年当時の生徒です。10/13には、この元ヒギンショウ学校に近隣の2つの小学校から60人の生徒を

招待し、地元のボランティアが校長先生となりビクトリア時代の授業を再現しました。

10/14・グラウンドワーク デイ GWの11テーマの活動を発表する日。地元企業、地域グループ、ボランティア事業、失業中の学卒者向けボランティアプログラム、就業訓練、景観デザイン、教育事業、地域美化事業、田園保全、健全育成事業など。また夜には、「ランカシャー州の夕べ」と題して、ランカシャーパイとグリーンピースの食事。地元グループの演奏と歌、ビール会社とラグビークラブの協力でドリンクバーなども設けられ楽しい夜となりました。

10/15・市民の日 21周年を記念してオールダム市の丘にある、ジュピリーピーコン(西暦2000年を祝うかがり火)が久しぶりに点灯されました。この火は、環境センターで市長によって灯され、ピーコ



参加した鳥の巣箱づくり
大人から子供まで、大勢が

ンまでGWスタッフのランナーにより運ばれました。かがり火が地域改善のシンボルとして人々の心に灯り、21周年イベントのクライマックスとなりました。1983年設立以来所長を務めるロビン・ヘンショウ氏は「21周年イベントで多くの方々からGWの地域への貢献や実績を認めてくださり、大変うれしく思います。このGORの本部ビル自体が、地域再生のシンボルとなっていることを大変誇りに思います」と語りました。

GW三島活動記録 2004年 10月-2005年 2月 (定例作業・例会・ヒヤリングは割愛)

月日	時間	事業名	内容	場所	参加
10	2 土	10:00~	鎮守の森探検隊	竹とんぼを作ろう!	右内神社
10	3 日	19:00~	三島測候所	東本町2丁目町内会ワークショップ	防災センター
10	7 木		ホテルの里	説明会	
10	12 火	16:30~	さくら保育園ピオトープ	父兄のためのワークショップ	さくら保育園
10	16 土		環境コミュニティビジネス	リヤカー運搬	高橋邸 村上
			水辺のユニバーサルデザイン	プレゼンテーション	日本大学駿河台校舎 渡辺
			みどり野ふれあいの園	いもほり会・焼きいも会	みどり野ふれあいの園 60人
10	17 日		さくら保育園ピオトープ	関係者による打ち合わせ	
		10:00~	三島測候所	下田街道を歩く	下田街道 20人
		13:00~	ワンデイチャレンジ	花の植え替え	市民文化会館ほか 16人
			境川・清住緑地	西小学校稲刈り指導	境川・清住緑地
10	26 火	9:00~	教育	三島北中体験学習「三島の自然環境」	市内 120人
		19:00~	三島測候所	今後のスケジュール打ち合わせ	富士山総合研究所 4人
10	28 木	9:00~	教育	三島北中体験学習「三島の自然環境」	市内 160人
10	29 金	19:00~	さくら保育園ピオトープ	段取り打ち合わせ	
11	2 火	13:10~	境川・清住緑地	地域教育推進協議会交流会(表彰)	沼津労政会館 3人
11	7 日	9:30~15:00	遊水匠の会	屋台製作	悠遊工房ひろかわ
11	12 金	14:00~	日本GW協会	GWシンポジウムin三島	三島グランドホテル 150人
11	13 土	8:30~	日本GW協会	GWシンポジウムin三島(視察研修)	市内 40人
			境川・清住緑地	収穫祭&自然観察会	境川・清住緑地 80人
11	14 日	9:00~16:00	さくら保育園ピオトープ	地鎮祭・第1回工事(造成)	さくら保育園 120人
11	16 火	19:30~	三島測候所	打ち合わせ	富士山総合研究所 3人
11	17 水	19:00~	松毛川	中間報告	スタディセンター 6人
11	20 土		よるい坂公園	ひまわり子ども会による花植え	よるい坂公園
11	21 日		遊水匠の会	梅花藻の里・杉皮門の制作	悠遊工房ひろかわ
11	25 木	19:00~	NPO法人情報交換会	連絡会	生涯学習センター 中止
11	27 土		せせらぎシニア元氣工房	バーベキュー	悠遊工房ひろかわ 5人
11	29 月	18:00~	遊水匠の会	屋台製作	悠遊工房ひろかわ 4人
12	1 水	13:00~	環境コミュニティビジネス	中間報告会	市内・スタディセンター 渡辺、国関係者 5人
			せせらぎシニア元氣工房	募集チラシの全戸配付	三島市内
12	5 日	9:30~15:00	遊水匠の会	水車制作(オマハ行き水車制作)	悠遊工房ひろかわ
			境川・清住緑地	バス視察	山梨県 44人
12	10 金	11:00~	環境コミュニティビジネス	ニュービジネス活動発表会	東京ビックサイト 渡辺
		9:00~	さくら保育園	第2回工事作業	さくら保育園 50人
		13:00~	環境コミュニティビジネス	ソバの収穫	三ツ谷 3人
		19:00~	松毛川	御園区地元関係者への中間報告会	御園公民館 渡辺、加須屋、村上
		19:00~	ホテルの里	説明会	本尊寺 加藤、広川
		19:00~	GW三島	忘年会	15人
12	22 水	19:00~	三島測候所を保存する会	三島市との協働について	GW三島事務局 3人
12	26 日	13:00~	環境コミュニティビジネス	そば打ち道場	直久 20人
12	29 水		匠の会	緊急作業(杉皮門の製作)	悠遊工房ひろかわ
1	7 金	10:30~	事務局	三島市長訪問	三島市役所 渡辺、緒明
		13:00~	せせらぎシニア元氣工房	事業説明会	加茂川町1区公民館 12人
1	10 月		花植え	三井住友建設協力事業	中止
1	11 火	19:00~	三島測候所を保存する会	活動報告会	三島商工会議所
1	15 土	13:00~	ホテルの里	ワンデイチャレンジ 水路・生垣づくり	宮さんの川 20
1	16 日	9:00~	さくら保育園ピオトープ	第3回工事	函南さくら保育園 60
		17:00~	境川・清住緑地	新年会	金太郎
1	28 金	10:00~	腰切不動尊	1月例祭	腰切不動尊 11
		9:30~	梅花藻の里	杉皮門の建立・軽作業	梅花藻の里 22
1	30 日	16:00~	せせらぎシニア元氣工房	第2回説明会	悠遊工房ひろかわ
2	3 木	10:20~	梅花藻の里	SBSラジオ	梅花藻の里 小浜
2	6 日	10:00~	鎮守の森探検隊	ネイチャークラフトに挑戦!	悠遊工房ひろかわ 20人
		10:00~	屋台プロジェクト	屋台のお披露目	丸平商店駐車場 15人
2	10 木		三島測候所	陳情	財務省・気象庁 市長、緒明、渡辺、木下
		9:00~12:00	さくら保育園ピオトープ	井戸掘り	函南さくら保育園 9人
		10:00~	屋台プロジェクト	屋台のお披露目	三島市観光案内所前
2	17 木	9:00~12:00	さくら保育園ピオトープ	井戸掘り	函南さくら保育園
2	20 日	9:30~12:00	ホテルの里	ワンデイチャレンジ 水路・生垣づくり	宮さんの川
		9:30~	さくら保育園ピオトープ	ペランダ広場の組み立て	函南さくら保育園

せせらぎシニア元氣工房メンバー募集中
 毎週火曜、水曜、金曜の午後一時三十分~四時くらいまで、三島市加茂川町の「悠遊工房ひろかわ」で活動しています。見学も随時受け付けています。興味のある方は事務局までお問合せください。(055・983・0136)

いっしょにものづくりしませんか

視察に訪れたみなさん H16.10-H17.2

月日	事業名	都道府県	人数
10	1 NPOサポートセンター	東京都	30
10	5 甚目寺町役場	愛知県	11
10	7 マッセ大阪	大阪府	7
10	7 江戸崎出張所管内職員研修会	茨城県	30
10	19 足柄下郡社会教育委員連絡協議会	神奈川県	20
10	29 秩序問題研究会	東京都	1
11	2 静岡県企画部企画調査室ほか	静岡県	3
11	11 (社)公共建築協会	東京都	9
11	14 原泉地区まちづくり委員会	静岡県	26
11	26 中遠・北遠土地改良事業推進協議会	静岡県	26
12	12 アジアNGO研究会	愛知県	3
12	13 財団法人日本開発構想研究所	東京都	1
1	23 裾野市婦人会	静岡県	25
2	10 クリーンよこすか市民の会	神奈川県	41
2	12 (社)熊谷青年会議所	埼玉県	4
2	19 秩序問題研究会	東京都	4
2	20 西和良地域づくり委員会	岐阜県	30

事務局からのお知らせ

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にご協力ください!

3月11日(金)より、マックスバリュの三島市幸原店と谷田店に、グラウンドワーク三島のボックスが設置されます。毎月11日の黄色い買い物レシートを入れていただくと、買い物金額の1%がGW三島の活動資金に還元されます。

毎月11日はマックスバリュ三島市幸原店と谷田店でお買い物!

境川・清住緑地観察ガイド「植物編」編集集中

これまでトンボ編、野鳥編と毎回好評をいただいていた境川・清住緑地の観察ガイドですが、現在菅原久夫先生のご協力で植物編を作成中です。3月下旬発行予定。次号で詳細お知らせします。

GW三島ボランティアニュース26号編集室

大畠公好子 岸野和子 城所徂帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 山崎多紀子 (50音順)